

科目名	解剖学Ⅰ（昼間部）						
分野	専門基礎分野	担当教員	小林 千紘				
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	60		4				
科目の概要	柔道整復師として必要な骨・関節・筋肉についての解剖学的な形態と構造の知識を習得する。						
学習の到達目標	1.身体の部位を解剖学的に区別できる。 2.身体の方角用語を正確に説明できる。 3.生体を構成する骨を列挙できる。 4.骨の基本構造と結合様式を説明できる。 5.骨格筋の構造と機能を説明できる。 6.全身の骨格筋の構成と機能を説明できる。						
成績評価の方法と基準	試験を実施し、60点以上を合格とする。						
使用テキスト	「解剖学」改訂第2版：全国柔道整復学校協会監修、岸 清・石塚 寛著、医歯薬出版						
参考文献							
実務経験を有する者	○						
講義計画	講義内容						
1	人体の部位と用語を理解する。骨格の構成と骨の基本構造を理解する。						
2	関節の形態と機能を理解する。						
3	脊柱（頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨）の形態を理解する。						
4	胸郭（胸椎・胸骨・肋骨）の形態を理解する。						
5	骨盤（寛骨・仙骨）の形態を理解する。						
6	上肢帯の骨（鎖骨・肩甲骨）の形態を理解する。						
7	上肢の骨（上腕骨）の形態を理解する。						
8	上肢の骨（橈骨・尺骨）の形態を理解する。						
9	上肢の骨（手部）の形態を理解する。						
10	下肢帯の骨（寛骨）の形態を理解する。						
11	下肢の骨（大腿骨）の形態を理解する。						
12	下肢の骨（脛骨・腓骨）の形態を理解する。						
13	下肢の骨（足部）の形態を理解する。						
14	頭蓋の形態と頭蓋を構成する骨の形態を理解する。						
15	総合評価（まとめ）						

16	筋学総論・頭部の筋の構成と機能を理解する。
17	胸部の筋(浅胸筋、深胸筋、横隔膜)の構成と機能を理解する。
18	背部の筋(浅背筋、深背筋)の構成と機能を理解する。
19	上肢の筋(上肢帯の筋、上腕の筋)の構成と機能を理解する。
20	上肢の筋(上腕の筋)の構成と機能を理解する。
21	上肢の筋(前腕の筋)の構成と機能を理解する。
22	手の筋の構成と機能を理解する。上肢の筋のまとめ
23	下肢の筋(下肢帯の筋、大腿の筋)の構成と機能を理解する。
24	下肢の筋(大腿の筋)の構成と機能を理解する。
25	下肢の筋(下腿の筋)の構成と機能を理解する。
26	足の筋の構成と機能を理解する。下肢の筋のまとめ
27	腹部の筋(前腹筋、側腹筋、後腹筋)の構成と機能を理解する。
28	頭部の筋(顔面筋、咀嚼筋)の構成と機能を理解する。
29	頸部の筋(前頸筋、側頸筋、後頸筋)の構成と機能を理解する。
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)